

平成 2 6 年度第 5 回公民館運営審議会

1 開催日時 平成 2 7 年 2 月 1 8 日（水） 午後 3 時開会

2 開催場所 根形公民館 講義・研修室

3 出席委員

委員長	稲毛 博夫	委 員	中野 博恵
副委員長	刃田 充浩	委 員	上嶋 茂代
副委員長	田中 直子	委 員	長崎 容子
委 員	伊藤 俊彦	委 員	大野 俊江
委 員	森松 清	委 員	鳥飼 知子
委 員	石井 幸子		

(欠席委員)

委 員	山本 透
-----	------

4 出席職員

教育部長	蔭山 弘	平岡公民館長	若林 勲
生涯学習課長	井口 崇	市民会館主幹	濱崎 雅仁
市民会館長	原田 光雄	平川公民館主幹	能城 秀喜
平川公民館長	深井 明	長浦公民館副館長	粕谷 尚夫
長浦公民館長	根本 雅史	根形公民館副館長	宮崎 光男
根形公民館長	森 義臣	平岡公民館副館長	大津 忠志

5 傍聴定員と傍聴人数

傍聴定員	5 人
傍聴人数	1 人

6 議 題

(1) 平成 2 7 年度市民会館・公民館経営方針（案）について

7 議 題

稲毛委員長

「議題（1）平成 2 7 年度市民会館・公民館経営方針（案）について」事務局より説明を求めます。

濱崎市民会館主幹

経営方針に先立ち、平成26年度の事業の成果・課題を説明した。

新たに「ねがたオープンキャンパス」の実施、家庭教育学級における合同講演会の実施や平川・平岡の講座合同実施といったものに取り組んだこと、課題として地区住民会議の自主的な運営に向けての支援、家庭教育学級の広報活動、参加者の交流から課題の学習活動への転換等をあげた。また、生涯学習の支援において、ホームページ操作のスキルアップ、サークル会員の高齢化に対する支援の必要が出てきたこと、講座については、新たな講座を組み入れながら対応したこと、公民館まつりににおける利用団体のさらなる参加促進を検討すること等を報告した。

原田市民会館長

平成27年度の経営方針について説明した。

経営方針については、教育ビジョンの体系に沿って作成していることから、枠組みは変わっていない。しかし、教育ビジョンが前期5年目を迎え、見直しの年となることから、それを今後の公民館の経営に反映していくこととした。

重点施策については、家庭教育学級の充実の方策として、合同の講演会を引き続き実施すること、青少年事業としての新たな試みであった「ねがたオープンキャンパス」の継続実施と、子どもの事業における実施時期、内容等を検討すること、サークルへの支援として体験講座の実施、講座に参加しやすくするための単発講座の実施・検討、公民館運営体制の検討、避難所としての公民館の役割と機能の検証、運営評価において評価シートの作成と評価の試行実施、職員の資質向上に向けて新規所属職員への研修実施等、変更箇所を説明した。

稲毛委員長

ただいまの説明について質疑をお受けします。

伊藤委員

チャンピオン大会の募集方法や種目について検討が必要であるとのことだが、何か齟齬が生じているのか。

根本長浦公民館長

若干参加者が減少していること、種目が固定化していることから検討が必要だということです。

大野委員

市民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援の中で、利用者懇談会の開催とあ

るが、全館で行っているのか教えてください。

濱崎市民会館主幹

利用者懇談会については、それぞれ各館で行っています。

鳥飼委員

地域全体で子どもを育む環境づくりの推進の中で子ども会育成会等の支援とあるが、子ども会は最も地域に密着した組織で重要だと思うが段々と減ってきている状況だと思う。それに対してどのような支援をしているのか。

根本長浦公民館長

長浦がいちばん子ども会が無くなっている地域ですが、昔は分区単位や自治会単位で子ども会があったが、子どもが減っていることから単独では成り立たなくなり、活動も停滞している。地区住民会議が主体となり、ドッジボール大会などを企画している。子ども会を再建するよりも、いまは集まって遊ぶ環境づくりを目的に行っている。子ども会の活性化は難しい。

鳥飼委員

子ども会育成会について、他の地区はどうでしょうか。

石井委員

他の地区でも、休会が多くなってきています。

根本長浦公民館長

補足ですが、長浦では地区住民会議と青少年相談員が共同して、市の子どもスポーツ大会に2チーム出場させようと取り組み、昨年度、今年度と2年参加した。そうしたら他の地区でも合同チームを作って参加するようになり、今年は参加チームが増えたと聞いている。

濱崎市民会館主幹

昭和地区でも休会が多くなっており、子ども会主体ではなく地域の大人が主体となってチームを組織して参加したチームがあると聞いています。子ども会としては参加しないが、子どもたちは出たい、それならばということで地域の大人が面倒を見て参加しているという状況です。

根本長浦公民館長

子どもスポーツ大会は、子ども会単独ではなくても、いくつかは合同でチームを作って出てくるようになりました。

井口生涯学習課長

子ども会は青少年相談員とともに子どもたちにいい環境を作ろうということで活動していただいている。スポーツ大会は、オープン参加を認めたり、地域に帰って子ども会を復活させようという機運が高まればいいと思うし、そういった話を子ども会の会長等と話している。子ども会の行事として房総かるた大会もあるが、これも子ども会自体が少なくなっている状況もありますので、いままでは違う参加のしかたを模索していこうという動きがあります。

大野委員

こういうときだからこそ、公民館ができることがあるのではないか。支援ということだけではなく、公民館が中心となって実施していくことが必要なのではないかと思いますので、よろしくお願いします。

森松委員

社会教育関係団体への支援の中で、体験講座を行うというのがありますが、高齢化でサークルの会員が減少しているということで、サークルが中心となり体験講座を行うということですが、文化協会でも県の交流会などでは同じような動きで会員数を増やすということが言われている。文化協会も協力できることはあると思うので、こうした取り組みはぜひやっていただきたいと思います。

原田市民会館長

市民会館で活動しているサークルが、会員数の減少などで今後のサークルの活動について相談に来たりしています。ただ、サークルだけで会員の募集をしても広報活動には限界があるので、公民館の体験講座として位置づけ、そこに市民の方に参加していただければ、活性化につながるのではないかとということで、サークルの方にお話ししたところ、やってみようということになったものです。文化協会の中の団体にもご協力を頂けるのであれば、非常に助かるのでよろしくお願いします。

田中委員

幼児家庭教育学級について全館合同で講演会を行い好評だったということだが、一般の参加もOKにならないのかなというように思う。講座の受講生という枠に限らず、一回でも一般の保護者も参加できるようにすれば、講座を知っ

でもらう機会にもなるし、子ども館とか子育て支援センターというところだけでもお知らせすれば、広がっていくかなと思う。

濱崎市民会館主幹

今のご意見については担当に伝え、講座を知ってもらうということもありますので、保育の問題とかいろいろあると思いますが、話を進めていくよう伝えます。

伊藤委員

ホームページの更新については職員のスキルに差があるということですが、平成27年度の職員の資質の向上にはその文言が見られないが、研修会とかをしないとスキルアップは図れないと思いますが、どうしているのか。また、災害の避難所の件については、公民館だけではなく市の防災の問題かと思うが、何か打ち出されているのか伺います。

原田市民会館長

ホームページの更新については、継続的に研修が行われているのかなという疑問がある。ただし、今回市のホームページがリニューアルされ、各課から選抜された職員が研修を受けていますが、更新のしかたなど大きく変わっていますので、これまでもずっと課題でしたが、これからは取り組んでいく意識があります。福祉避難所の件については、災害対策の中で位置づけられています。その中で、避難所といえばまず公民館という意識があると思いますが、平素からの意識がないと有事の際に混乱するのは明らかですので、社会教育施設の経営方針にはそぐわないかもしれませんが、一般の避難所としての公民館に、さらに福祉避難所としての役割が加わるんだということを意識として持つ必要があることから、あえて入れさせていただきました。

大野委員

避難訓練等を実施するとあるが、根形公民館の炊き出し体験のように、各館も訓練の時とか社会教育推進員とか住民を含んだ形で訓練を実施していけたらいいなと感じました。

鳥飼委員

福祉避難所ということは、障がいを持った人も避難する可能性もある。いざという時の課題も見えてくると思うので、訓練は大事だと思う。

原田市民会館長

避難訓練はいろいろなシチュエーションが考えられ、やり方も様々なものが考えられるので、工夫してやれればと思います。福祉避難所については、避難した後の問題なので、障がいを持つ方とか介護が必要な方とかが避難してくるということで、訓練とはちょっと違ってきますが、避難訓練はいろいろなパターンで実施していけたらいいと思います。

埴田委員

ねがたオープンキャンパスについて、詳しく教えていただけたらと思います。また、避難所の件ですが、日中はいいと思うが夜間の体制等はきちんとできているのか伺いたい。

森根形公民会館長

ねがたオープンキャンパスをやろうという子どもたち、今成人式の実行委員を過去3年間にやってくれた根形中学校の卒業生を中心としたグループ、その中の人たち10名程度、それと小学校が連携して、お盆を過ぎた5日間、学校の宿題のお手伝いとか、調べ学習だとかの指導ができるのではないかとということで行いました。そして、こうした人たちが、やがては地域のリーダーになっていってほしいということで、このような講座を持ちました。この講座の中にレクリエーション協会とか、公民館サークルの中の絵画のサークル等に協力を頂きました。はじめてやったことですが、当初は小中学生を考えていたが、子どもたちの体力等も異なることから、小学生でやっていこうということになったものです。総勢協力者は延べ180名、スタッフはサークルが29団体が関わってくれ、小学1年生から6年生まで延べ111名が参加してくれました。

宮崎根形公民館副館長

今回実施してみて気になったのが、時期的に8月18日から22日までの5日間の実施だったが、大学生の就活の時期と重なってしまった。子どもたちの宿題等も教えるということだったが、宿題がほとんど終わっている子もいました。こうしたことから、開催をお盆の前にするとかの検討が必要であり、これが課題と感じています。初めての試みでしたが、関係者の協力で、完ぺきとは言えないまでもいい形で終われたと思っています。

原田市民会館長

避難所の関係ですが、一般避難所と福祉避難所の二つの機能を持つことになった場合、福祉避難所としての機能を公民館職員だけでやれるのか、当然でき

ないわけで、災害の方の計画では健康部門と福祉部門の職員が福祉避難所の運営にあたるとなっています。ただし、人的なものが充足されるのかは甚だ心もとない面があります。ここで具体的なイメージをつかむのは、高齢者とか障がい者とか、様々な人が来た場合に福祉部門が対応するといっても、実際どのように対応されるのかは、はっきりしない。そこで具体的なイメージをつかむ必要があるということで書かさせていただきました。

畠田委員

福祉ではなく一般避難所としては、だれがカギを開けるとか、職員も近くに住んでいるとは限らず、被災している場合もあるのですぐにこれるわけではない。その辺のマニュアルはどうなのか。

粕谷長浦公民館副館長

一般避難所についてはマニュアル化されています。一般の台風等の避難の際は、近くの住民から連絡があり、それを受けて危機管理課が公民館に連絡して一般避難所として開設する場合があります。3. 11のような大被害の場合は、一般避難所にくるのは当然ですが、要援護者とか自治会を通じて危機管理課に登録している方が避難する場合があります、そうした方は一般避難所で受け入れます。その中で、障がいのある方を一般避難所で対応することが困難な場合は福祉避難室というレベルで、別の部屋等で避難していただくという体制になっています。そして、災害が長期化する場合は、福祉避難所としてこうした方を受け入れることとなります。その場合は、保健師や社会福祉士等が送られてくるが、それでも無理な場合は専門の施設に応援を求めることになります。そうしたことを現在検討しておりまして、対応マニュアルについては現在作成中ということでご理解ください。

伊藤委員

それぞれの公民館で事業を改善しようというのがよく分かりますし、これで活性化が図られていくという印象を持ちました。直接体験をする場を設定していきたいという文言も入っており、子どもに関しての事業は直接体験を重視していただきたいと思います。高齢者講座については、前頭葉が活性化されるような内容が、ひいては健康につながると思われるので、ぜひ講座内容については考慮していただきたい。避難所については、公民館だけでは無理なので、危機管理課と連携をとりながら公民館職員がとるべきやり方をはっきりさせ、それを明らかにしたうえで訓練を行う。避難所では、避難した人を組織化することが大事であるので、そうした視点を入れればいいと思いますが、これは公民

館云々ではなく、市としての対応になると思います。

長崎委員

公民館まつりは盛大に行われたが、公民館を利用する人以外の人をどのように引き寄せるのかが課題になっているが、その意味で長浦公民館が行っている単発講座の開催は素晴らしいことですので、他の館も見習って工夫をしていたきたい。防災については、地域住民が顔見知りだったりするとそれだけまとまりやすいという統計が出ていると聞いたので、公民館の重要性がそこに出ていると思います。公民館の事業もいろいろ工夫をして、公民館を利用していない人をいかに公民館に引き寄せるかを皆さんで考えていきたいと思っています。

中野委員

災害という点からいうと、2月8日に発表会をやってその際にフロア全部を確認しましたが、気になったのは建物の扉の手入れがされていないと感じた。例えば、非常用のドアを開けたら閉まらない、よくみると砂が詰まっていたということで、整備がおろそかになっていると感じた。非常時には重要なことなので整備をお願いしたいと思っています。

原田市民会館長

いろいろな意見を頂きましたが、今は案の段階ですので、ただいまの意見を踏まえて修正し、最終的な経営方針にまとめて新年度第1回目の会議で皆様に告示したいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

稲毛委員長

他になれば、続きまして報告事項に移ります。

報告事項(1)平成27年袖ヶ浦市成人式について、事務局より説明をお願いいたします。

濱崎市民会館主幹

平成27年成人式について、資料に基づき説明。

市内4会場で実施したが、合計で524名が出席。77.5%の出席率だった。記念行事は、パーティー、ビデオレター等各会場ごとに内容は異なる。なお、平川地区については、平岡公民館で実施した。記念品については図書を贈呈した。事前申し込みに加えて当日申し込みを行い、配付率は84.5%だった。

昭和地区では、保護者席を1階席にも設定し、多くの保護者、恩師に見守ってもらえた。長浦地区では、保護者席が足りないなど、関心が高いものだった。蔵波地区では、恩師のメッセージなどを放映し、好評だった。根形地区では、地域への恩返しの意味で、大太鼓を贈ることとした。平川地区では、地域の人から新成人へのメッセージを送るなど、地域に密着した内容であった。なお、昨年度の課題であった他地区の成人が入り込んでしまった点については、入場券を配付することで対応した。平川地区の会場は、平岡公民館で行ったが、それぞれ一長一短あるため、さらに今後検討していきます。

長崎委員

長浦公民館については、昨年度に問題があったが今年は入場券の配付など工夫して穏やかにできたと思う。また、恩師が来て成人が非常に喜んだが、以前には、恩師を来賓として呼んでいた年があったがいつのまにかなくなった。今後恩師を来賓として呼ぶことは可能なのでしょうか。

濱崎市民会館主幹

過去に恩師を来賓として呼んでいたことがあったとのことですが、正式にはそれはなかったです。

長崎委員

長浦公民館では、過去に恩師を来賓として呼びして、式典にも参加していただいたと思いますが。

根本長浦公民館長

過去にあったかどうかは分かりません。合同で市民会館でやっていたときはありましたが。

長崎委員

これから恩師を来賓として招くことは、可能なのでしょうか。

濱崎市民会館主幹

すべての地区の認識ではありませんが、今は中学校の時の先生を記念行事等に呼んでいますが、私立学校などを卒業した人や転入した人等もいるので、そういった方々のことも考えなければならないということは、担当者会議で議論しました。

根本長浦公民館長

新成人は、成人式が終わった後夕方に同窓会を行っていますが、その際に恩師は招待されます。昼間もということになると、一日拘束されることにもなります。ただ、式典に呼ぶのであれば、それは意味はあるとは思いますが。

長崎委員

長浦地区では、かなり盛り上がっていたので、いいことなのだなと思ったのですが。

濱崎市民会館主幹

式典ではなく、記念行事として何をやっていくのかという中で、ビデオレターをやったり、また新成人の実行委員から案内状を出して式典を見てくださいということで、保護者と同じ立場で式典を見ていただいているという状況です。

鳥飼委員

昭和地区は、あたたかく厳粛な雰囲気の中で行われて、よかったと思います。来賓の数とかその他の参加者が地区によって異なるが、その点はどうなのでしょう。

濱崎市民会館主幹

平川地区は、二つの公民館で対応してもらうが、平岡地区と中川・富岡地区の自治連会長を呼ぶといったことで多くなっていますし、長浦、蔵波では対象者が多く、午前、午後に分けて実施するというので、協力者の数も多くなっています。来賓は、それぞれの地区の選出の議員さんの数によって差が出てきます。

大野委員

社会教育推進員がその他に含まれるということ、昭和地区が住民会議から多くのサポートを得たと書かれていますが、住民会議の方々の人数もその他の欄に含まれていますか。

濱崎市民会館主幹

はい。その他に含まれています。

大野委員

社会教育推進員が参加しているのは、どの館ですか。私は社会教育推進員を

していて関わったことはなかったですが。また、前日の準備も参加しますか。

濱崎市民会館主幹

平川を除いて各館が参加しています。市民会館は3名、根形公民館は4名、長浦公民館は全員です。また、前日準備は市民会館は参加、根形、長浦の2館は当日のみです。

大野委員

わかりました。私は平川地区に参加させていただきましたが、去年は大変寒かったのですが、今年は暖かくとても助かりました。

稲毛委員長

次に、報告事項(2)君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会の研修実施結果について、これは事務局からありますか。それとも行った方からの感想があればもらいますか。

原田市民会館長

二つの研修会がありましたが、特に全体研修会についてはグループ討議もあり8名の方が参加され、もう一つの方は講演のみということで4名の委員が参加ということで、全体研修会について研修の感想をお聞かせいただけましたら、次回以降の参考にさせていただきたいと思います。

稲毛委員長

分かりました。それでは、研修は4グループに分かれましたので、グループ単位でお願いします。Aグループからお願いします。

中野委員

非常に難しかったです。初めてこういう研修に出たのですが、グループ討議で自己紹介、各市の公運審の考えていることを述べて討議するということだったが、時間が足りなかったです。君津市は、14館で年4回の会議、問題点は高齢化していること、サークルが多くて活動の場所が確保できないことなど。木更津市は16館で161サークルでこちらも場所が確保できない、また公運審の委員だけで集まり勉強会をしているとのことだった。富津市では、高齢化で公民館存続の危機を感じていること、逆によかったことは婦人会等が子育ての遊びだとかのカリキュラムの中で若いママたちに喜んでもらえるものがあつたとのことでした。4市の公運審の活動状況など情報交換を行い、相互の交流

ができたと感じています。講演では、公運審の重要性、自分なりに勉強が少ないと感じ、資料等は来年度の公運審の活動に活かしていきたいと思います。

長崎委員

Bグループとしては、使用料の減免や公運審の役割とか事業計画についてとか、高齢化対策とか具体的な話し合いはできなかったが、中野さんがおっしゃったように、木更津市の公運審が勉強会を行っているということで、見習いたいと思いました。また、中間層の参加者を増やすにはどうしたらいいか、利用者と行政の間に立った意見を述べていくのにはどうしたらいいかということを考えさせられる機会ではありました。公運審としてどういう役割を持っているのかということがよく理解できていなくて、もう少し公運審の方と審議していかなくてはいけないものなのか、自分自身これでいいのかと自問自答の中で行っている部分があります。木更津市の方のように勉強会なりを経て少しずつ知識を得た方がいいのか考えさせられる研修会でした。

大野委員

Cグループは、自己紹介で話すなかで各市の問題点やいい点とが見えてきて、君津市の方は、夏休み中に受験生に開放してそれから利用が増えたとか、各市の財政問題とか、公運審をやっているとどういことをしていくべきか分からないとか様々な意見も出ましたが、自分たちは利用者と行政の間に立つのだから、会議では必ず意見を述べるのが重要なんだということを皆意見としておっしゃっていました。その意味でも、公運審の委員としても市民としても、足を運んで公民館を見ていくことが大切なんだと感じました。そしてたくさんの研修がありました。こうした研修に参加してこそ得るものがたくさんあるし、他の人と交流することで抱えている問題も見えてくるし、ああそうなんだと気づかせてくれることもたくさんあったので、研修に出て他の市の人と話をするだけで、すごくいい勉強になったと思いました。

夢田委員

同じくCグループですが、富津市では公民館長を一人にするという案があることや、利用者の高齢化については地域のよって違うということで、木更津市ではほたる野とかは若い世代が増えているという話でした。講演は、教育委員会制度が変わっていく中で、利用者目線で意見を述べていくことが大切であると感じた。二つ目の研修では、最初にゲームのようなものを行ったが、一人の結果を評価するのではなく、複数人で考えればたくさんの答えを出せることができるということ、そして評価をするときも行政の評価ではなく、利用者の意見

等も取り入れて評価することで、いろいろなものが見えてくるというような話でした。

鳥飼委員

Eグループでしたが、公運審の委員になった経緯とかを聞いて、もっと公運審について説明してほしかったとか、引き受けるときにもっとよく話を聞けば良かったという意見もあった。また、話し合いの中で、次の委員を育てるかとか、一時期大変だけどそれを過ぎれば大丈夫だから続けることが大切だという意見もあり、大変参考になりました。2月10日の研修は、評価の話でしたが、細かいところはわかりませんでしたが、公民館の応援者としてかつ市民の目線で、これからもよりよい公民館運営ができるか考えていきたいし、お手伝いさせて頂こうと改めて思いました。

稲毛委員長

私もEグループでしたが、まず公運審は2年間でいいですよということを出てきているから、任期2年で何もわからないで終わってしまうという人が何人かいました。辞めなくてもいいのだが、2年で交代という地区があるようで、だからいつまでたっても良くならないんだという話もありました。また、成人式に関わっていない公民館もあり、だんだん公民館が離れていってしまうようでさみしいと感じている委員さんの意見もありました。

稲毛委員長

それでは、その他ということでは何かありますか。

石井委員

私は公運審ということで1期目なのですが、会議の時間帯とか、委員の選出とかについて検討していただけないでしょうか。

原田市民会館長

2年の任期の中で1年が終わろうとしている時点で話が出たわけですが、委員の選出については任期替えの際にどの団体から推薦をいただくか、その都度検討したうえで行っていますので、次回の課題とさせていただきたいと思います。

石井委員

会議の時間帯も平日3時というのは厳しいし、私たち子ども会の活動は土日

が基本なので、仕事もあることから都合がつけば参加しますが、大変厳しいです。

原田市民会館長

会議の時間帯、委員の選出という二つの意見を頂きましたので、事務局でこの意見は預からせていただきます。

稲毛委員長

石井委員、よろしいでしょうか。

それでは、これもちまして会議の議題、報告を終了とさせていただきます。

午後 5 時閉会

平成26年度第5回公民館運営審議会

平成27年2月18日（水）

午後3時開会

根形公民館 講義室

次 第

1 開会のことば

2 委員長あいさつ

3 教育部長あいさつ

4 議題

（1）平成27年度市民会館・公民館経営方針（案）について

5 報告

（1）平成27年袖ヶ浦市成人式について

（2）君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会の研修実施結果について

（3）その他

6 閉会のことば

第 2 1 期袖ヶ浦市公民館運営審議会委員名簿

番号	氏名	選出区分	備考
1	いとう としひこ 伊藤 俊彦	学校教育 校長会	4 期目
2	もりまつ きよし 森松 清	社会教育 文化協会	3 期目
3	いしい さちこ 石井 幸子	社会教育 子ども会育成会	1 期目
4	なかの ひろしげ 中野 博恵	社会教育 音楽協会	1 期目
5	いなげ ひろお 稲毛 博夫	社会教育 体育協会	5 期目
6	たなか なおこ 田中 直子	家庭教育 子どもる一ふ袖ヶ浦代表	4 期目
7	ただ みつひろ 多田 充浩	学識経験者 元青少年相談員	3 期目
8	かみじま しげよ 上嶋 茂代	学識経験者 元民生委員	1 期目
9	ながさき ようこ 長崎 容子	学識経験者 元社会教育推進員	2 期目
10	やまもと とおる 山本 透	学識経験者 元青少年相談員	1 期目
11	おおの としえ 大野 俊江	学識経験者 元公民館職員	2 期目
12	とりかい ともこ 鳥飼 知子	学識経験者（公募委員） 社会教育推進員	1 期目

任 期 平成 2 6 年 7 月 1 日から平成 2 8 年 6 月 3 0 日

構成人数 男性委員 6 名 女性委員 6 名

議題(1) 平成27年度市民会館・公民館経営方針(案)について

◎平成26年度事業の成果と課題について

(1) 地域全体で子どもを育む環境づくりの推進

重点施策 (施策の方向性)	①学校・家庭・地域の連携強化による地域の教育力の向上 (ア)地域で子どもを守る体制づくり 子どもの安全を守るための取り組みを行う、地区住民会議及び青少年相談員の活動を支援します。 (イ)子どもたちの体験・交流等の場づくり 子どもたちの体験活動、交流活動を行う、青少年相談員、子ども会育成会、地区住民会議、社会教育関係団体の事業を支援します。
実施事業	○夏季愛のパトロール、冬季愛のパトロール、子ども安全パトロールへの協力(地区住民会議、青少年相談員) ○市民会館・公民館まつりの支援(青少年相談員支部活動) ○新春チャンピオン大会の支援(青少年相談員支部活動) ○世代間交流事業・デイキャンプ・通学合宿の支援(地区住民会議活動) ○「ねがたオープンキャンパス～ねこまろ～」の実施(N.O.C.との協働による実施。公民館登録サークル、社会教育推進員の協力)
成果	・「子ども安全パトロール」をはじめ、地域における子どもの安全を守る取り組みは定着してきた。 ・デイキャンプでは、日常体験することのできない薪割りなどの活動を通じ、子どもたちの交流を図ることができた。また、中川富岡地区では例年の倍近い参加があり参加児童の保護者の参加も多く、地域の活動を知る機会ともなった。 ・通学合宿では、公民館に宿泊し、共同生活をしながら学校に通うという非日常生活の中で、自立心や協調性、忍耐力など、たくましい心と身体を育む場を提供することができた。 ・根形公民館「ねがたオープンキャンパス」では、地域の児童と若者及び中高年の協力者間で、今までにない交流を生むこととなった。この事業を通して、それぞれが自分自身の再発見と地域との関わりや役割を再認識する機会を得ることができた。
課題	・地区住民会議の自主的な運営に向けてさらに支援する必要がある。 ・新春何でもチャンピオン大会は、募集方法や種目についてさらに検討が必要である

重点施策 (施策の方向性)	②家庭教育力の向上 (ア)家庭教育への支援 市の総合計画の重要な施策と位置づけられた家庭教育学級を、発達段階に応じて開設します。子育てに関する学習とともに、同じ世代の子どもを持つ保護者の交友関係が広げられる取り組みを目指します。 なお、平川公民館と平岡公民館では「幼児家庭教育学級」を合同で開催して学級生の交流をさらに深めます。 また、家庭教育推進協議会では、家庭教育学級の充実について社会教育推進員とともに引き続き検討します。 (イ)子育て支援体制の充実 ホームページや館報を活用して、家庭教育学級の活動の紹介や子育てに関する情報提供を行います。
実施事業	○幼児家庭教育学級(全館) ○地域家庭教育学級(全館) ○中学校家庭教育学級(市民会館、平川公民館、長浦公民館、根形公民館) ○親業訓練入門講座(市民会館)
成果	【幼児家庭教育学級】 ・学級生同士が話をする機会を増やしたり、学級終了後にフリースペースで自由に昼食をとったりできるようにすることで、学級生同士の交流を深めることができた。 ・学級生同士の話し合いにより講座内容を決めることで、主体的に学級に関わることもできた。 ・ホームページに各回の活動の様子を掲載したり、各館をリンクさせることで他館の活動の様子も分かるように工夫したり、また、館報に学級の紹介をすることで広く広報活動を行うことができた。 ・親子活動から中心から学級生のための活動を増やすことにより、子育てについての情報交換をすることができた。 ・5館合同で講演会を実施することにより、より質の高い学習の機会を得ることができた。 ・平川、平岡の公民館では合同開催としたことにより、参加者が増え、講座生同士の交流も広く行うことができた。 【地域家庭教育学級】 ・「安全なネットの使い方」をテーマに合同講座を開催し、子どもを取り巻くネット環境について学習を行った。また、講演後に行った交流会では、「子育てに関する悩みを、同じように他校の保護者も感じていることが分かった」など、悩みを共有できたと好評であった。 ・市民会館では、これまで昭和小学校と奈良輪小学校で別々に事業を実施してきたが、一部合同で開催したことにより、両校PTAの連携を図ることが可能となった。 【中学校家庭教育学級】 ・根形公民館では、児童・生徒数が少ないという地域の特性をいかして、小学校と中学校合同で開催し、それぞれが役割を担うことで保護者の交流を深めることができた。 【親業訓練入門講座】 ・これまでの受講者を対象としたフォローアップの会を利用して、一般講座の開設に向けて話を進めることができた。 【家庭教育推進協議会】 ・父親を対象とした講座などの家庭教育の充実に向けた取り組みへの対応や、合同講座の改善点などを社会教育推進員を交えて検討することができた。
課題	【幼児家庭教育学級】 ・地域からの参加者の増員を含め、より多くの人に参加してもらうため、さらなる学習内容の充実と広報活動の工夫を行いたい。 【地域家庭教育学級】【中学校家庭教育学級】 ・仲間づくりに軸足を置いた交流活動から、子どもの育ちや子育ての課題などの学習活動への転換を図る。

重点施策 (施策の方向性)	③地域の拠点づくりの推進 (ア)公民館における青少年教育推進事業の充実 子どもたちに不足しているといわれている自然体験・社会体験などの機会を提供します。また、集団生活を通して社会生活に必要な規範意識や協調性を身につけ、心豊かなたくましい子どもを育成するために青少年期の課題を的確に捉え、特色のある事業を展開します。 市民会館では、「子どもチャレンジ教室」を、長浦公民館では「わんぱく教室」を引き続き開催し、種々の自然体験や遊び体験を提供します。 平川公民館では、農業体験等を行って、農業への理解を深めるとともに自然に親しむ心を育てるため、「子どもクラブ」を継続して実施します。また、サークル・地域団体等と連携して、小学生に様々な体験の場を設けるため、「地域ふれあい推進事業」を行います。 根形公民館では、文化芸術活動の拠点として、小学生を対象に「花まる絵画教室(低学年)」や「子ども絵画教室(高学年)」を実施し、子どもたちの豊かな感性を育みます。 平岡公民館では、特にこれから国際社会を生きる子どもが、グローバルなものの見方や広い視野を持ち、異なる文化を持った人々とともに協調し、国際社会について正しく理解できるように「子ども世界講座」を引き続き開催します。 また、今年度も科学に関心を持つ人材を育成するとともに、スキルの向上を図るために「ひらおか子ども理科教室」を体験コースと論文工作コースに分けて開催します。体験コースでは、科学に対する関心を持つようフィールドワークや実験、移動教室等を行い、論文工作コースに向かうための動機付けとします。 (イ)地区住民会議への支援 子どもの安全を守る取り組みなど、青少年の健全育成に向けた活動を行う地区住民会議の活動を支援します。
実施事業	○子どもチャレンジ教室、子ども映画会(市民会館) ○子どもクラブ、地域ふれあい推進事業(平川公民館) ○わんぱく教室(長浦公民館) ○花まる絵画教室、子ども絵画教室、ねがたオープンキャンパス(根形公民館) ○子ども世界講座、子ども理科教室(平岡公民館)
成果	【子どもチャレンジ教室】【わんぱく教室】 ・団体の協力のもと、子どもたちに自然体験をはじめ様々な体験活動を提供し、参加児童相互の交流を図ることができた。 【子どもクラブ】 ・農業とは違った体験事業も取り入れることで、参加者の拡大につながった。また地域の大人と積極的に連携を図り事業を行うことが出来た。 【地域ふれあい推進事業】 ・地元小学生のほか、児童養護施設の児童が当日多数参加し、交流を図ることができた。また、青少年相談員を中心に、交流活動の継続に向けた事業実践の検討が行われるようになった。 【子ども世界講座】 ・青年海外協力隊員としてアフリカへ派遣された方を講師に招き、アフリカの国々の歴史や文化、生活などについて知る機会となった。 【子ども理科教室】 ・体験コースでは、電子オルゴールを作成し、論文工作支援コースでは、各自夏休みの課題のヒントとなるアドバイスを講師から受け、子どもたちのスキルを向上することができた。 【地区住民会議への支援】 ・子ども安全パトロール全体会議を開催し、子どもたちの安全を守るために犯罪の起こりやすさなどを学ぶことができ、日々の見守り活動にいかすことができた。(ながうら青空の会) 【子ども絵画教室】 ・公民館まつり・館内ロビー展示のほか、市役所内でのロビー展を行うことができた。
課題	【子どもチャレンジ教室】【わんぱく教室】 ・子どもたちがより主体性を発揮し、多く関わりが持てる学習内容の工夫が必要である。 【子どもクラブ】 ・子どもたちの多様な関心に応えるため、農業以外の自然体験など講座内容に検討を要する。 【地域ふれあい推進事業】 ・事業に対する認知度の向上や、実施時期・内容についての検討を行う必要がある。 【子ども世界講座】 ・内容が限定的であるため、生活体験や社会体験などより幅広い学習を取り入れることができるよう講座自体を見直す必要がある。 【子ども理科教室】 ・子どもたちの様々な興味に対応するため、単発での講座の展開を検討する。

(2) 市民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援

重点施策 (施策の方向性)	①生涯学習推進体制の整備 (ア)生涯学習情報の収集とちば予約システムの充実 関係機関・団体の学習情報を収集し、ホームページの充実と館報の発行とあわせて、窓口での学習相談体制の充実を図り、地域に根ざした公民館活動を展開します。 また、ちば予約システムを活用し、利用者の利便性の向上を図ります。 (イ)社会教育関係団体の活動への支援 利用者懇談会を開催し、市民会館・公民館の経営方針や事業運営についての理解を図るとともに、サークル等社会教育関係団体の自主的な運営を支えるための支援を行います。
実績	○ホームページの更新 ○館報の発行 ○学習相談・サークルへの支援 ○利用者懇談会
成果	【ホームページの更新・館報の発行】 ・館報の発行と、講座の実施状況やフォトレポートなどをホームページで更新し、公民館活動の周知を図ることができた。 【サークルへの支援】 ・市民会館まつりや学級・講座の講師など、サークルとの協同の機会を設け、サークル活動の活性化を図った。 【利用者懇談会】 ・使用料の改定や、サークルのあり方、施設の利用方法などについて意見交換し、また問題提起することができた。
課題	【ホームページの更新】 ・職員によりホームページ作成のスキルが異なるため、公民館によってホームページの内容や更新頻度に違いがでてきている。 【サークルへの支援】 ・会員の高齢化や減少傾向への対応が必要である。

重点施策 (施策の方向性)	②人と人をつなぐ社会教育の充実 (ア)市民への学習機会の提供と公民館活動の充実 市民の幅広い学習ニーズに応える社会教育の拠点として、また、自己学習から集団学習へとつなぐ学習の場となるよう努めます。そのために、市民会館・公民館で活動する社会教育推進員と地域課題や生活課題を的確に捉え、成人教育推進事業・高齢者いきがい促進事業を展開します。 市民会館では、大ホールの音響機器と照明設備の操作技術の習得のため「地域ふれあい推進事業」として講習会を開催し、大ホールの有効活用を図るとともに人材の育成を図ります。 また、社会教育推進員の資質向上を目指して、自らが企画し運営にあたる「さわやかセミナー」を引き続き実施します。 平川公民館では、「ものづくり講座」の充実をさらに図り、公民館まつりへの参加・作品出品を目指します。 長浦公民館では、生活環境の改善を図るため、市民の視点に立った内容により「環境講座」を展開します。 また、平川公民館及び長浦公民館では、パソコンの初歩操作のスキルアップを図るため、サークル等の協力を得ながら引き続き「初級パソコン講座」を実施します。 (イ)利用者ニーズに沿った施設の整備 市民が利用しやすく安心して安全な施設を提供するために安全点検日を設け、施設の定期的な安全点検を実施し適切な維持管理に努めます。市民会館では、大ホールの扉の調整、修繕を行います。 また、避難所としての整備を図るとともに、避難訓練を実施し利用者の安全に努めます。
実施事業	○市民会館…女性セミナー、さわやかセミナー、地域ふれあい推進事業、高齢者学級 ○平川公民館…女性セミナー、初級パソコン講座、ものづくり講座、健康講座、園芸講座、高齢者学級 ○長浦公民館…女性セミナー、男性セミナー、初級パソコン講座、環境講座、健康生き生き塾、ながうら雑学塾、高齢者学級、正月飾りづくり講習会 ○根形公民館…女性セミナー、成人絵画教室、地域再発見講座、高齢者学級 ○平岡公民館…女性セミナー、国際理解セミナー、地域ふれあい事業、高齢者学級
成果	【さわやかセミナー】 ・社会教育推進員全員で企画し、「専門家のアドバイスをうけ、仲間と交流し情報交換しながら健康増進をはかる」をテーマに講座を開催した。確実に社会教育推進員のスキルの向上を図ることができた。 【初級パソコン講座】 ・講座に参加した数名が、昨年講座で立ち上げたサークルに加入しその後も自主的にパソコン学習を継続している。 ・公民館で活動する団体を講師とすることで、団体の活動の成果を発揮する場となり、また講座終了後のケアもしやすい体制となっている。 【ものづくり講座】 ・家庭にある包丁など、身近な刃物の研ぎ方、手入れについて実践的に学ぶことができた。また、家族(成人)にも教えたいとの申し出があり、受け入れた。 【園芸講座】 ・テーマを絞り込むことにより、内容について深く学習することができ、講座の目的でもある身近に緑を感じられる事業展開を行うことが出来た。 【健康生き生き塾】 ・体操やウォーキングなど健康に関する内容を取り入れ、講座生同士の仲間づくりを図った。 【高齢者学級】 ・地区運営委員会を中心に企画・運営を行い、高齢者の学習ニーズに沿った事業を実施することができ、高齢者の生きがい促進と交流を深めることができた。
課題	【男性セミナー】 ・参加者の評判は良いものの、講座生の固定化と受講者の減少により、広報活動の検討が必要である。 【初級パソコン講座】 ・講座生のOS、アプリケーションソフトの違い、スキルの違いに配慮しなければならない。 ・インターネットへの接続にあたり、参加者持込みのパソコンの中に安全性の確保が難しい機種があったため、募集の際の周知を徹底する必要がある。 ・「初級」の捉え方に違い見られることから、講座内容の周知について検討する必要がある。 【さわやかセミナー】 ・中高年男性が参加しやすい学習プログラムの検討が必要である。 【ものづくり講座】 ・講座の成果の定着のための確認がとりづらく、方法について検討する必要がある。 【高齢者学級】 ・承り学習になりがちであり、学級生の考えを発言することのできる学習も取り入れる必要がある。 【施設管理】 ・公共施設再編整備計画への対応。 ・施設管理委託の見直し。

重点施策 (施策の方向性)	③地域に根ざす文化・芸術活動の推進 (ア)文化・芸術振興のための市民活動の支援 市民会館・公民館では、市民だれもが郷土の芸術に親しみながら教養を高め、創造することを楽しむとともに、社会教育関係団体等の発表機会や交流の場を提供します。 さらに、文化芸術活動の振興として、市民会館・根形公民館は、社会教育関係団体等との共催による文化・芸術事業を展開します。 市民会館では、引き続き音楽協会との共催による「市民音楽フェスティバル」と文化協会との共催による「芸能文化まつり」を開催します。また、「地域ふれあい推進事業」を実施し、大ホール機器の有効活用と人材の育成を図ります。 根形公民館では、実行委員会が主体となり「創作発表・交流展」を開催し、主催事業や公民館を拠点として活動する芸術・工芸分野のサークルの学習成果を発表する機会とします。
実施事業	○市民会館まつり、公民館まつり、文化・スポーツまつり ○市民音楽フェスティバル(市民会館・音楽協会共催) ○芸能文化まつり(市民会館・文化協会共催) ○ロビー展示(全館) ○創作発表・交流展(根形公民館)
成果	・公民館まつりやロビー展示を開催し、社会教育関係団体等の学習成果の発表の場とすることができた。 ・公民館まつりでは、定期利用団体をはじめ地域の各種団体の協力のもと実施することができた。また、講習会の講師や模擬店をはじめ、様々なシーンで公民館利用者が積極的に関わることができた。 ・市民音楽フェスティバルは、音楽に接する機会の提供だけにとどまらず、出演団体が宣伝・PRから運営に至るまで力を発揮し、手づくり感のある催しとなった。 ・創作発表・交流展は、来客が多く見込まれる3月末から4月初めの桜の開花時期にあわせて実施する。また、3回目となった実行委員会の運営は、スムーズに行われている。
課題	○公民館まつり ・多くの定期利用団体の協力が得られるようになったが、引き続き定期利用団体の主体性が発揮できる方策を検討する必要がある。 ○市民音楽フェスティバル・芸能文化まつり ・参加団体の活動の充実を図るため、団体のPRも併せて行う必要がある。 ○創作発表・交流展 ・今後は、実行委員会の主体的な活動を支援するとともに、「交流」の範囲や方法について検討する必要がある。

(3) 市民のニーズに応じた市民会館・公民館づくり

重点施策（施策の方向性）

① 公民館運営審議会の充実

公民館事業の企画や公民館を取り巻く諸課題について積極的に提案をし、公民館運営審議会の意見が反映しながら公民館運営の充実を図ります。

回	月 日	議 題
1	5 月 23 日	平成 25 年度市民会館・公民館の主催事業実施結果について 平成 26 年度市民会館・公民館の主催事業計画について 平成 26 年度公民館運営審議会の年間活動計画について
2	7 月 16 日	平成 26 年度市民会館・公民館事業の進捗状況について 公民館及び市民会館使用料の見直しについて
3	9 月 29 日	平成 26 年度市民会館・公民館まつりについて 公民館及び市民会館使用料の減免の見直しについて 袖ヶ浦市生涯学習推進協議会委員等の推薦について
4	12 月 19 日	平成 26 年度市民会館・公民館まつり実施結果について
5	2 月 18 日	平成 27 年度市民会館・公民館経営方針（案）について

重点施策（施策の方向性）

② 運営評価への取り組み

市民会館・公民館の運営の評価と評価結果に基づく改善についての調査・研究に取り組みます。

各講座でアンケート調査を行い、次年度以降への改善材料とした。

重点施策（施策の方向性）

③ 職員の資質の向上

公民館職員の資質の向上として、各種会議の充実と、君津地方公民館連絡協議会などの研修に積極的に参加します。

○ 研修機会

- ① 生涯学習初任者研修（柏市 千葉県民プラザ）
- ② 社会教育主事講習（上野 国立教育政策研究所）
- ③ 君津地方公民館連絡協議会全体研修会 年 2 回
- ④ 君津地方公民館連絡協議会館長部会研修会 年 2 回
- ⑤ 君津地方公民館連絡協議会主事部会研修会 年 2 回
- ⑥ 君津地方社会教育研究会全体研究会 年 2 回
- ⑦ 君津地方社会教育研究会部会研修会（5 部会） 年 5 ～ 6 回
- ⑧ 千葉県公民館連絡協議会初任職員研修 年 5 回
- ⑨ 千葉県公民館連絡協議会主事部会研修会 年 3 回
- ⑩ 千葉県公民館研究大会 年 1 回
- ⑪ 千葉県公立文化施設協議会講演会 年 1 回

平成27年度市民会館・公民館経営方針及び重点施策（案）

1. 経営方針

市民会館・公民館は、第2期教育ビジョンの基本目標である「明日を拓く 心豊かな たくましい 人づくり」の実現に向け、「地域」「子ども」「市民」の視点から、「学び つながり 支えあう教育」を推進します。

そのために、地域の課題や生活上の課題を十分に把握して、社会教育推進員をはじめ地域の社会教育関係団体等との連携により、市民の生活や暮らしを豊かにする学習活動を展開します。

なお、平成27年度は教育ビジョンの前期5年目にあたることから、これまでの取り組みを振り返り、その内容を後期計画に反映させていきます。

・平成23年度から32年度の計画期間のうち、前期5年が平成27年度で終了することから、前期の点検評価を行い、それを後期に反映させることを追加した。

2. 重点施策

市民会館・公民館は、「地域」「子ども」「市民」に対し今後取り組まなければならない目標を定め、これを遂行するための施策の方向性を重点施策として社会教育の充実を図ります。

（1）地域全体で子どもを育む環境づくりの推進

①学校・家庭・地域の連携強化による地域の教育力の向上

（ア）地域で子どもを守る体制づくり

子どもの安全を守るための取り組みを行う、地区住民会議及び青少年相談員の活動を支援します。

（イ）子どもたちの体験・交流等の場づくり

子どもたちの体験活動、交流活動を行う、青少年相談員、子ども会育成会、地区住民会議、社会教育関係団体が行う地域の特色を生かした様々な事業を支援します。

②家庭教育力の向上

(7)家庭教育への支援

市の総合計画の重要な施策と位置づけられた家庭教育学級を、発達段階に応じて開設します。子育てに関する学習とともに、同じ世代の子どもを持つ保護者の交友関係が広げられる取り組みを引き続き目指します。

なお、平川公民館と平岡公民館では、前年度から引き続き「幼児家庭教育学級」を合同で開催して学級生の交流をさらに進めます。さらに全館共催により、共通の課題となっているテーマについて、講演会を実施します。

また、家庭教育推進協議会では、家庭教育学級の充実について社会教育推進員とともに引き続き検討します。

・家庭教育学級の充実の方策として、幼児家庭教育学級及び地域家庭教育学級において5館合同の講演会を実施することとし、その記述を追加した。

(4)子育て支援体制の充実

ホームページや館報を活用して、家庭教育学級の活動の紹介や子育てに関する情報提供を行います。

③地域の拠点づくりの推進

(7)公民館における青少年教育推進事業の充実

子どもたちに不足しているといわれている自然体験・社会体験などの機会を提供します。また、集団生活を通して社会生活に必要な規範意識や協調性を身につけ、心豊かなたくましい子どもを育成するために青少年期の課題を的確に捉え、特色のある事業を展開します。

市民会館では、「子どもチャレンジ教室」を、長浦公民館では「わんぱく教室」を引き続き開催し、種々の自然体験や遊び体験などを提供します。

平川公民館では、農業体験等を行って、農業への理解を深めるとともに自然に親しむ心を育てるため、「子どもクラブ」を継続して実施します。また、サークル・地域団体等と連携して、小学生に様々な体験の場を設けるため、「地域ふれあい推進事業」を行います。

根形公民館では、文化芸術活動の拠点として、小学生を対象に「花まる絵画教室（低学年）」や「子ども絵画教室（高学年）」を実施し、子どもたちの豊かな感性を育むとともに、積極的にその活動を周知します。

また地域の若者と協働で、将来、地域を担う仲間となる青少年が集い、交流し、育ちあう場所となる「ねがたオープンキャンパス」を開催します。

平岡公民館では、自然体験や社会体験の機会を提供するとともに、外国の文化や歴史に関心を持ち国際理解に役立つような内容も取り入れて実施します。

・公民館における青少年事業の新たな試みとして、根形公民館において「ねがたオープンキャンパス」を実施したが、地域が一体となった事業として平成27年度も引き続き行うことから、その記述を追加するとともに、各館の事業内容、実施時期等、より多くの子供たちの参加策を検討します。

(イ)地区住民会議への支援

子どもの安全を守る取り組みなど、青少年の健全育成に向けた活動を行う地区住民会議の活動を支援します。

(2) 市民一人ひとりの生涯を通じた学習の支援

①生涯学習推進体制の整備

(ア)生涯学習情報の収集とちば予約システムの充実

関係機関・団体の学習情報を収集し、ホームページの充実と館報の発行とあわせて、窓口での学習相談体制の充実を図り、地域に根ざした公民館活動を展開します。

また、ちば予約システムを活用し、利用者の利便性の向上を図ります。

(イ)社会教育関係団体の活動への支援

利用者懇談会を開催し、市民会館・公民館の経営方針や事業運営についての理解を図るとともに、サークル等社会教育関係団体の自主的な運営を支えるための支援を行います。また、市民会館では、会員の減少や高齢化が見られるサークルを支援するため、体験講座を実施しサークル

の活性化を支援します。

・サークルが講座の主体となり、市民会館が講座生の募集等を行うことで、茶道、絵画等の体験講座を行うことで、学習の場を提供するとともに、サークルの会員確保等につなげ、活性化を図ることとした。

②人と人をつなぐ社会教育の充実

(ア)市民への学習機会の提供と公民館活動の充実

市民の幅広い学習ニーズに応える社会教育の拠点として、また、自己学習から集団学習へとつなぐ学習の場となるよう努めます。そのために、市民会館・公民館で活動する社会教育推進員と地域課題や生活課題を的確に捉え、成人教育推進事業・高齢者いきがい促進事業を展開します。

市民会館では、大ホールの音響機器と照明設備の操作技術の習得のため「地域ふれあい推進事業」として講習会を開催し、大ホールの有効活用を図るとともに人材の育成を図ります。

また、社会教育推進員の資質向上を目指して、自らが企画し運営にあたる「さわやかセミナー」を引き続き実施します。

平川公民館では、「ものづくり講座」の充実をさらに図り、公民館まつりへの参加・作品出品を目指します。

長浦公民館では、生活環境の改善を図るため、市民の視点に立った内容により「環境講座」を展開するほか、市民が講座に参加しやすくするために単発講座を開催します。

また、平川公民館及び長浦公民館では、パソコンの初歩操作のスキルアップを図るため、サークル等の協力を得ながら引き続き「初級パソコン講座」を実施します。

・長浦公民館では、単発の講座を実施し効果を上げており、引き続きこれを実施するとともに、参加しやすさ、テーマ、実施時期等に柔軟に対応するため、他館においても単発講座の開催を検討します。

(イ)利用者ニーズに沿った施設の整備

市民が利用しやすく安心して安全な施設を提供するために安全点検日を設け、施設の定期的な安全点検を実施し適切な維持管理に努めるとともに、避難訓練を実施し利用者の安全に努めます。

また、公共施設の再編整備への全市的取組の中で、公民館の効果的な運営体制等の検討を行います。

一方、災害時には避難所としての役割が求められることから、その観点から整備を図るとともに、一般避難所に加え福祉避難所としての機能も求められることから、実際の運用について具体的イメージを探り、災害に備えます。

- ・公共施設の再編整備への取り組みから、様々な視点から効果的な運営体制の見直しを検討することとし、その記述を追加した。
- ・公民館 5 館は公設の福祉避難所としての機能も求められるため、実際の運用について具体的なイメージをつかみ、問題点、課題等を認識し円滑な運用ができるよう備えます。

③地域に根ざす文化・芸術活動の推進

(ア)文化・芸術振興のための市民活動の支援

市民会館・公民館では、市民だれもが郷土の芸術に親しみながら教養を高め、創造することを楽しむとともに、社会教育関係団体等の発表機会や交流の場を提供します。

さらに、文化芸術活動の振興として市民会館・根形公民館は、社会教育関係団体等との共催による文化・芸術事業を展開します。

市民会館では、引き続き音楽協会との共催による「市民音楽フェスティバル」と文化協会との共催による「芸能文化まつり」を開催します。また、「地域ふれあい推進事業」を実施し、大ホール機器の有効活用と人材の育成を図ります。

長浦公民館では、わが国の伝統音楽である邦楽の継承者を育成するため「長浦ジュニアお琴・尺八教室」を開催します。

根形公民館では、実行委員会が主体となり「創作発表・交流展」を開催し、主催事業や公民館を拠点として活動する芸術・工芸分野のサークルの学習成果を発表する機会とします。

- ・長浦公民館では、地域の人材の協力を得てお琴・尺八の子ども向けの講座を開設していることから、子どもたちの文化芸術活動の充実を図る事業として追加した。

(3) 市民のニーズに応じた市民会館・公民館づくり

①公民館運営審議会の充実

公民館事業の企画や公民館の諸課題について提案をし、公民館運営審議会の意見を反映しながら公民館運営の充実を図ります。

②運営評価への取り組み

市民会館・公民館の運営の評価と評価結果に基づく改善について、評価シートの作成、主催講座の評価に取り組みます。

・公民館の評価として、評価シートの作成とアンケート結果を含めた事業評価を行い、事業の見直し、改善につなげます。

③職員の資質の向上

公民館職員の資質の向上のため、君津地方公民館連絡協議会などの研修に積極的に参加します。また、新たに配置された館長、担当職員等に対し、公民館の役割、事業の展開に関する考え方等について研修を行い、意識の共有を図ります。

・公民館に新たに配置された職員に対し、公民館職員による研修を行い、公民館の役割、事業への取り組み方の実例を通して、業務改善、見直し等の視点の共有化に取り組みます。

平成27年度市民会館公民館主催事業実施一覧

	市民会館	平川公民館	長浦公民館	根形公民館	平岡公民館
青少年教育推進事業	子どもチャレンジ教室 子ども映画会	子どもクラブ 地域ふれあい推進事業	わんぱく教室 通学合宿 長浦ジュニアお琴尺八教室	子ども絵画教室 花まる絵画教室 ねがたオープンキャンパス	子ども教室
青少年健全育成事業	青少年相談員支部活動 子ども会支部活動 地区住民会議 (坂戸の森みどりの会)	青少年相談員支部活動 子ども会支部活動 地区住民会議 (中富ふれあいの会)	青少年相談員支部活動 子ども会支部活動 地区住民会議 (長浦あおぞらの会)	青少年相談員支部活動 子ども会支部活動 地区住民会議 (根っ子の会)	青少年相談員支部活動 子ども会支部活動 地区住民会議 (名幸ヶ丘の会)
成人教育推進事業	幼児家庭教育学級 地域家庭教育学級 中学校家庭教育学級 親業訓練入門講座 親業訓練一般講座 女性セミナー さわやかセミナー 舞台コーディネーター養成講座	幼児家庭教育学級 地域家庭教育学級 中学校家庭教育学級 女性セミナー 初級パソコン講座 ものづくり講座 健康講座 園芸講座	幼児家庭教育学級 地域家庭教育学級 中学校家庭教育学級 女性セミナー 初級パソコン講座 男性セミナー 健康生き生き塾 環境講座 ながうら雑学塾 正月飾りづくり講習会	幼児家庭教育学級 地域家庭教育学級 中学校家庭教育学級 女性セミナー 成人絵画教室 地域再発見講座	幼児家庭教育学級 地域家庭教育学級 わくわく女性倶楽部 国際理解セミナー 平岡地域ふれあい事業
高齢者いきがい促進事業	昭和ふれあい教室 世代間交流	うぐいす学級	長浦さわやかスクール	根形にこにこ教室	ひらおかシニアクラブ
各種行事推進事業	市民会館まつり 市民音楽フェスティバル 芸能文化まつり ロビー展示	公民館まつり ロビー展示	公民館まつり ロビー展示	公民館まつり 創作発表・交流展 ロビー展示	文化・スポーツまつり ロビー展示
成人式実施事業	成人式	成人式	成人式	成人式	成人式
その他	公民館運営審議会 利用者懇談会 社会教育推進員活動 館報発行・ホームページ更新	公民館運営審議会 利用者懇談会 社会教育推進員活動 館報発行・ホームページ更新	公民館運営審議会 利用者懇談会 社会教育推進員活動 館報発行・ホームページ更新	公民館運営審議会 利用者懇談会 社会教育推進員活動 館報発行・ホームページ更新	公民館運営審議会 利用者懇談会 社会教育推進員活動 館報発行・ホームページ更新

報告（１）平成２７年袖ヶ浦市成人式について

平成２７年袖ヶ浦市成人式実施結果

「生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つ」という目標を掲げ、袖ヶ浦市の成人式を開催した。市民会館・長浦公民館・根形公民館・平岡公民館の４会場に分かれて実施した結果は下記のとおりである。

１．実施状況

昭和・蔵波・根形・平川地区は１月１１日（日）午前９時３０分から受付、１０時３０分から式典。長浦地区は午後０時４５分から受付、午後１時３０分から式典。式典終了後は、それぞれの会場で記念撮影やパーティーなどを実施し、終了した。

２．式典出席者

地 区	対 象 者			出 席 者			出席率 %	前 年 出席率%
	男	女	計	男	女	計		
昭和地区	80	98	178	58(5)	69(7)	127(12)	71.4	72.8
長浦地区	71	61	132	55(3)	44(2)	99(5)	75.0	77.6
蔵波地区	89	81	170	68(1)	63(3)	131(4)	77.1	81.6
根形地区	30	38	68	24(0)	32(1)	56(1)	82.4	79.2
平川地区	55	73	128	47(2)	64(6)	111(8)	86.7	88.2
計	325	351	676	252(11)	272(19)	524(30)	77.5	79.3

市外転出参加者含む（カッコ内は市外転出者参加者数）

５年間の推移

	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
対象者数(人)	6 3 9	6 4 0	7 0 7	6 3 8	6 7 6
出席者数(人)	5 0 5	5 0 3	5 1 8	5 0 6	5 2 4
出席率(%)	7 9 . 0	7 8 . 6	7 3 . 3	7 9 . 3	7 7 . 5

３．記念行事

各館で行われた記念行事の内容と参加人数は、下記のとおりである。

昭和地区

会 場 市民会館
 内 容 恩師の先生方を招いての立食パーティ（１，０００円会費）
 記念撮影（１，０００円）
 参加人数 １１０人（先生方を含む）

長浦地区

会 場 長浦公民館
内 容 思い出のアルバム・ビデオレター・記念撮影（１，０００円）
参加人数 ９９人

蔵波地区

会 場 長浦公民館
内 容 思い出のアルバム・ビデオレター・記念撮影（１，０００円）
参加人数 １３１人

根形地区

会 場 根形公民館
内 容 祝賀パーティー（思い出のビデオ上映）
中学校へ大太鼓寄贈（負担金１，０００円程度）
記念撮影（１，０００円）
参加人数 ５６人

平川地区

会 場 平岡公民館
内 容 新成人の主張『keep hope alive
～ありのままの感謝の気持ちを込めて～』
ビデオレター、記念撮影（１，０００円）
参加人数 １１１人

４．その他の参加者

地 区	来 賓 (実行委員は除く)	実行委員	職 員 (実行委員は除く)	そ の 他	計
昭和地区	１８	６	４	１１	３９
長浦地区	４	８	３	１８	３３
蔵波地区	４	８	３	２０	３５
根形地区	６	９	２	７	２４
平川地区	１９	１１	５	６	４１
計	５１	４２	１７	６２	１７２

※ 来賓には案内者（主催者）を含む。

※ 実行委員には、新成人は含まない。

※ その他は、社会教育推進員、青少年相談員などの会場設営協力者。

5. 記念品

記念品の選定にあたっては、読書を通して成人としての教養を高めてほしいという願いと、「読書の街そでがうら」の充実のため、図書を記念品とすることとした。

昨年に引き続き、お祝いの気持ちを本に託して贈ることと、多くの成人に本に親しんでもらいたいことから、成人式当日の申込みも可能とし、出席者の84.5%の成人に記念品を渡すことができた。

なお、記念品の申込みと併せてアンケート調査を行った。結果は、「記念品としてふさわしいと思う」59%（-6%）、「記念品としてふさわしいと思わない」14%（-1%）、その他7%（±0%）、無回答19%（+35%）であった。

その他の主なものは、記念品として図書はふさわしいが、種類を多くしたり、内容についての意見もあった。図書以外には、日常使うもの、数年後に思い出に残るものなどの意見のほか、記念品は不要との意見もあった。

6. まとめ（目標に対する結果）

「生まれ育った郷土に感謝し、社会の一員として力強く生きる気持ちを持つ」という目標に対する結果は下記のとおりである。

昭和地区

式典では、新成人が積極的に様々な役割を担う一方、受付などでは青少年相談員、社会教育推進員に加え、昭和地区住民会議から多くのサポートを得た。また、昨年に引き続き、小中学校時代お世話になった先生方へ新成人のメッセージを添えて、式典及び記念行事への招待状を送付した。先生方から寄せられたメッセージを掲示するなど、多くの方に支えられていることを意識させることができた。

さらに、会場の利点を生かして、より近い位置から成人の様子を見ることができるよう、保護者席を2階席のほか1階席にも設置した。多くの保護者、先生方に見守られながら厳粛に式典を挙行することができた。

長浦地区

9月から新成人の実行委員が積極的にさまざまな役割を担い、式典は落ち着いた雰囲気の中で挙行された。受付や片付け、駐車場整理などでは社会教育推進員や青少年相談員が積極的に役割を果たし、円滑に実施できた。

記念行事では、中学校時代の学校生活のスライドショーとビデオレターで恩師からのメッセージを放映した。新成人や保護者から好評であった。保護者席は小中学校の恩師も参加するなど用意した席では足りず、途中で席を増やすなど、保護者等の関心が高い地域であった。

蔵波地区

9月から新成人の実行委員が積極的にさまざまな役割を担い、式典では若干の私語はあったが、円滑に終了した。受付や片付け、駐車場整理などでは社会教育推進員や青少年相談員が積極的に役割を果たし、円滑に実施できた。

記念行事では、中学校時代の合唱コンクールのビデオや恩師からのメッセージを放映した。新成人や来場した関係者から好評であった。

根形地区

式典は、暖かく厳粛な雰囲気の中で行われ、今まで以上に印象深いものとなった。新成人代表挨拶では、郷土への感謝と地域の一員としての自覚と覚悟が述べられた。祝賀パーティー会場にも家族等のスペースを設け、恩師や家族を交えて和やかな交流を図ることができた。また、地域への恩返しの意味で、中学校へ「大太鼓」を寄贈することとなり、今後贈呈式が計画されている。

当日実施された第2回実行委員会では、新成人代表挨拶の「地域との関わり」を捉えて、地域での活躍について期待する発言があった。これに対し、新成人からは、青少年相談員や関係者へ感謝の言葉が多く出され、和やかな雰囲気での意見交換となった。

平川地区

記念式典は、実行委員がそれぞれの役割を担当し、温かくも厳粛な雰囲気の中で進めることができた。

記念行事の新成人の主張は代表者6名が登壇し、これまで育ててくれた両親や地域の方々、先生方に対しての感謝や将来の夢や目標を発表し大いに盛り上がった。また、ビデオレターでは地域の方々から新成人に向けたスケッチブックを使ったお祝いメッセージを映すなど、地域に密着した内容で好評であった。家族席も52席用意した7割が埋まり来場した関係者にも好評をいただけた。

昨年に引き続き、式典開始前には新成人実行委員の代表者が参加者全員の前で挨拶をし、会場全体を静粛にしたことで式典と、記念行事とのメリハリのついた成人式になった。

平成27年 「新成人に贈る袖ヶ浦の10冊」配布状況

	タイトル	著 者	ジャンル	市民会館	長浦公民館		根形公民館	平川公民館	合計
					長浦地区	蔵波地区			
1	風が強く吹いている	三浦しをん	日本文学	8	3	4	4	15	34
2	手紙	東野圭吾	日本文学	30	16	30	10	30	116
3	若者のための仕事論	丹羽 宇一郎	仕事論	9	13	16	4	16	58
4	雪男は向こうからやって来た	角幡唯介	ノンフィクション	0	2	2	1	0	5
5	自分の頭で考える	外山滋比古	エッセイ	2	3	2	2	3	12
6	レインツリーの国	有川浩	日本文学	18	14	21	12	15	80
7	ソロモンの指環	コンラート・ローレンツ	動物学	11	3	10	4	7	35
8	誕生日の子どもたち	トルーマン・カポーティ	英文学	9	1	7	2	6	25
9	絆ストレス	香山リカ	人間関係	6	11	10	4	10	41
10	沈黙の春	レイチェル・カーソン	環境論	10	9	6	7	5	37
合 計 (冊)				103	75	108	50	107	443
対 象 者 (人)				178	132	170	68	128	676
当 日 参 加 者 (人)				127	99	131	56	111	524
出席率 (%) (当日参加者) / (対象者)				71.3	75.0	77.1	82.4	86.7	77.5
申込率 (%) (合計) / (対象者)				57.9	56.8	63.5	73.5	83.6	65.5
配布率 (%) (合計) / (当日参加者)				81.1	75.8	82.4	89.3	96.4	84.5

報告（２）君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会の研修実施結果について

- ・君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会全体研修会

日時：平成２７年１月２３日（金）午後１時３０分～

場所：君津市生涯学習交流センター

４市の公民館運営審議会の活動状況について情報交換を行い、合わせて公民館運営の現状と課題について共通理解を図り、公民館運営審議会の役割等について、研修を行った。本市より８名の員が出席した。

- ①グループ討議

- ②講義：テーマ「公民館の事業評価と公運審の役割を考える」

講師 長澤 成次 氏（千葉大学教育学部教授）

- ・君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会・君津地方公民館連絡協議会合同研修会

日時：平成２７年２月１０日（火）午後２時～

場所：木更津市立中央公民館

公民館の評価の目的とは何か、公民館評価の主体は誰なのか、行政評価と公民館評価の違いなどについて講義を受け、公民館職員や公民館運営審議会委員がともに考える機会となった。公民館運営審議会委員４人出席。

テーマ「さらに充実した公民館事業を目指すための自己点検と評価」

講師 越村 康英 氏（千葉大学非常勤講師）